



特定小電力フルデュープレックストランシーバー

P2010

取扱説明書

このたびは、特定小電力フルデュプレックストランシーバー P2010 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

お買い上げいただきました製品に、万が一不審な点、お気付きの点などがありましたら、なるべくお早めにお買い上げいただきました販売店または CSR カスタマーサポートへお申し付けください。

安全上のご注意

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは保証書と一緒にいつでも取り出せる場所に保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意・危険を促す内容があることを告げるものです。
左図の場合は、感電注意が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
左図の場合は、分解禁止が描かれています。



●記号は使用者の行為を指示することを告げるものです。
左図の場合は、一般的な指示が描かれています。

⚠ 警告

- 自動車などの運転中はトランシーバーを操作しないでください。安全運転の妨げとなり、事故の原因となります。



- 当社指定の充電器以外で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



- 本機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電池パックは分解しないでください。電池パックを漏液・発熱・破裂させる原因になります。



- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店または CSR カスタマーサポートに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一、本機の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店または CSR カスタマーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一異物が本機の内部に入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店または CSR カスタマーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、本機を落としたり、破損した場合は、まず機器本体の電源を切って販売店または CSR カスタマーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



- 濡れた手で本機を充電器に取り付け・取り外ししないでください。感電の原因となります。



- 本機は、IPX5 相当の防水構造になっていますが、水で濡らしたり、水につけたり、水道やシャワーなどの水流を直接かけることはしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本機の上や近くに水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



⚠ 警告

- 充電端子に水滴のついたまま充電しないでください。火災・故障の原因となります。



- 本機またはリチウムイオン電池パックは火中へ投げ入れないでください。爆発して火災・やけどなどの原因となります。
- リチウムイオン電池パックの端子はショートさせないでください。発熱によりやけどの原因となります。電池パックを単品で持ち歩くときショートさせる原因となります。



⚠ 注意

- 本機の分解及びアンテナの付け替え等は、電波法で禁止されています。絶対に行わないでください。改造した機器を使用した場合は、電波法により罰せられますので、ご注意ください。
- 本機は、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則(証明規則)第2条8号「工場設計の認証(認証)を受けた無線局」です。本機の背面に貼られている証明ラベルは絶対にはがさないでください。



- 本機は、国内仕様です。国外では使用できませんのでご注意ください。



- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両、病院などの使用を禁止された場所では、本機の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。
- お手入れの際は安全のため電源を切ってください。また、アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤を含んだ布で拭かないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、高温になる場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 乳幼児の手の届かないところで、使用・保管してください。
- 不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。



目次

特長	2	その他.....	26
付属品	3	オプション	26
クイックスタートガイド.....	4	仕様.....	27
各部の名称	6	故障かな?と思ったら.....	29
機能説明.....	7	トランシーバーを	
表示部のアイコン名称	8	オールリセットする	30
お使いになる前の準備.....	9	保証・アフターサービス	31
電池の外しかた	9	修理を依頼されるときは	32
ベルトクリップの取り付けかた	9		
オプション(別売品)について.....	10		
電池ケース(BT201JA)について.....	10		
通話の種類について.....	11		
チャンネル番号とコード番号	11		
一組での使用.....	11		
二組以上での使用	12		
一斉呼出し(通報)	13		
一斉呼出し(通話)	14		
一斉呼出しと個別呼出し.....	16		
他の人の会話を聞く.....	18		
応用操作	19		
キーロック機能.....	19		
バックライト機能	19		
電池残量表示	19		
電池セーブ機能	20		
報知音機能.....	20		
弱電界自動再接続機能	20		
設定モードについて.....	21		

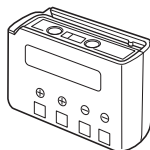
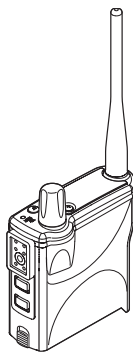
特長

- 本機は、電波法施行規則第6条「特定小電力無線局」に該当する400MHz帯複信方式トランシーバーで、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則(証明規則)第2条8号「工事設計の認証(認証)を受けた無線局」です。免許及び申請手続きは一切不要ですので、お買い上げいただいたその日から、ご使用になれます。
- お買い上げの状態では、自動的に空きチャンネルを探すMCA(マルチ・チャンネル・アクセス)方式に設定されています。[CALL]を押すだけで1対1の同時通話が可能です。
- 通話時間は送信出力の切り替えにより、3分間/無制限の2通りを使い分けることができます。
- 18チャンネル仕様(10mW/1mW)または9チャンネル仕様(10mW固定)を切り替えて使用できます。
- 相手とコード番号を合わせて通話を行います。
コード番号が99通り、グループ番号が9通り用意されています。グループ番号を設定すると(99×9)通りの個別の呼び出しが可能です。同一グループ内での一斉呼び出しも可能で、ビジネス用の通信システムとして、より使いやすい通話が可能です。

付属品

まず、下記の付属品が揃っているかご確認ください。
万が一不足してものがありましたら、お買い上げの販売店または CSR カスタマーサポートへお問い合わせください。

トランシーバー本体 1 リチウムイオン電池パック
(LB201JA) 1



取扱説明書 1

ベルトクリップ 1



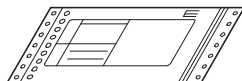
取り付け用ビス 2



保護シート 1



保証書 1



クイックスタートガイド

- 本機の操作の詳細は、この後のページをよくご覧になり正しくお使いください。
- 「安全上のご注意」(P.ii ~ iv)の各項目には本機を安全にお使いいただくための重要な項目が書かれています。本機をご使用になる前に必ずお読みください。

⚠ 注意

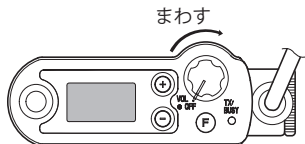
付属のリチウムイオン電池パックは出荷時に充電されていません。お使いになる前に必ず充電してからご使用ください。

1 ヘッドセットを取り付ける



2 電源を入れる

電源 / 音量スイッチを回し、電源を入れます。

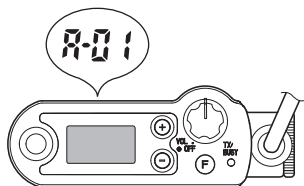


3 音量を合わせる

電源 / 音量スイッチを時計方向に回します。
回しすぎると、音量が大きくなりすぎますので注意してください。

4 表示を確認する

表示が A-01 であることを確認します。

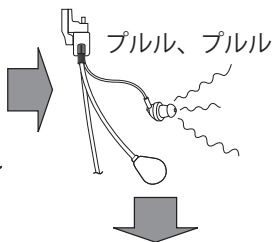
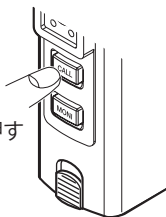


5 送信する

[CALL] を押します。
ヘッドセットのイヤホンから
「プルル、プルル」
という音が聞こえた
あと、相手のトラン
シーバーと通話が可
能です。

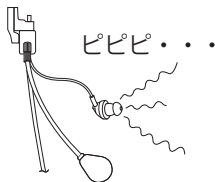
ヘッドセットの
マイクロホンに
向かってゆっく
り話します。

押す



呼び出された相手は…

呼び出されると、「ピピピ・・・」という音が
ヘッドセットのイヤホンから出ます。
その後、マイクに向かって話します。



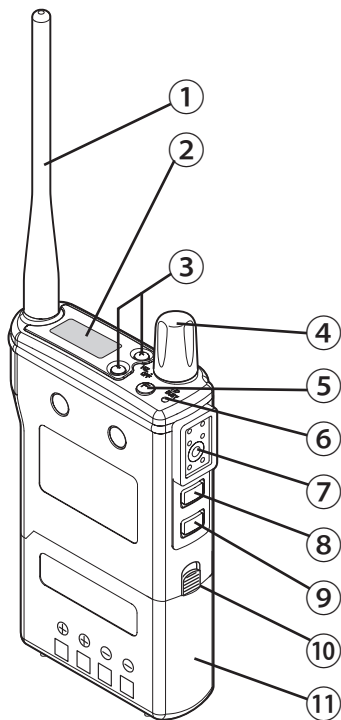
6 通話を終了する

通話を終了するには、[CALL] を
1 秒以上押します。

「プー」という音が聞こえて通話が終了します。



各部の名称



機能説明

① アンテナ

- フレキシブル・ホイップ・アンテナです。
アンテナの付け替え、改造は電波法で禁止されています。絶対に行わないでください。

② 表示部

- チャンネル番号、コード番号、カーソル、キーロック、電池残量の表示を行います。

③ + / - (プラス / マイナス) キー

- このキーを押すと、各種の番号を変更できます。変更できる番号は、チャンネル番号、コード番号です。このキーを押し続けると、番号が速く変更できます。キーロックの時は、各種の番号は変更できません。

④ 電源・音量ツマミ

- このツマミを反時計方向に回すと、音量が小さくなります。反時計方向に回し切ると電源が切れます。このツマミを時計方向に回すと電源が入り、さらに回すと音量が大きくなります。

⑤ F (ファンクション) キー

- このキーは、各種機能の設定を行います。
チャンネル番号 / コード番号 / 一斉呼び出しの切り替え、及びキーロックのオン・オフ設定です。

⑥ TX/BUSY ランプ

- このランプは、本機の状態をランプの色と点灯・点滅の組み合わせで知らせます。

赤色	点滅	接続動作中
	点灯	通話中
緑色	点滅	送信しようとしているチャンネルが、他の人に使われている
	点灯	一斉呼出しを受信中
橙色	点灯	通話中に [MONI] を押した

⑦ 接続端子

- ヘッドセット (HP201JA)、タイピンマイク (MP202JA) のコネクターを接続します。

⑧ CALL (コール) キー

- 相手の人を呼び出すときに押します。通話を終了するときには、1 秒以上に押し続けます。

⑨ MONI (モニター) キー

- 通常は使用しません。
(設定モードのモニターキー設定を ON にした時は、TX/BUSY ランプが点滅または点灯していない時に、このキーを押すと、「ザー」という音がして電波の有無の状況を確認できます。)

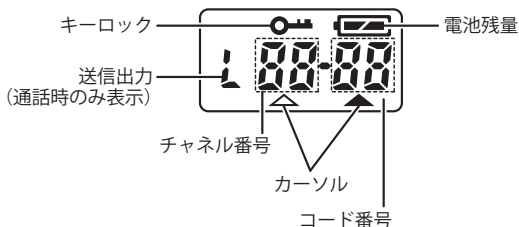
⑩ ロックボタン

- このボタンを下げると、電池ケースのロックが外れます。

⑪ リチウムイオン電池パック (LB201JA)

- 付属の充電式電池です。別売の専用急速充電器 (CG201JA) で充電します。

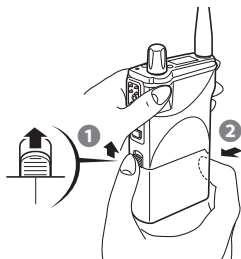
表示部のアイコン名称



お使いになる前の準備

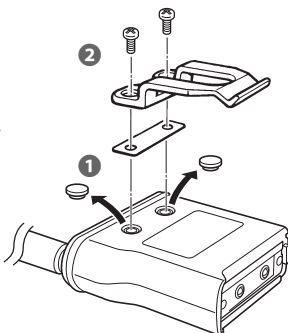
電池の外しかた

- ① ロックボタンを上押しする
- ② 電池パックをロックボタン側に引き抜く



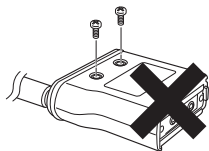
ベルトクリップの取り付けかた

- ① トランシーバーからゴムキャップを外す
- ② 保護シートとベルトクリップを取り付けネジで取り付ける



⚠ 注意

キャリングケースをお使いになるときは、ベルトクリップは使用できません。ベルトクリップを取り付けずに、付属のネジだけをトランシーバーに取り付けしないでください。ネジがトランシーバーの内部を破損し、故障の原因となります。また、ベルトクリップを取り付けるときは、ネジは付属のもの以外は使用しないでください。

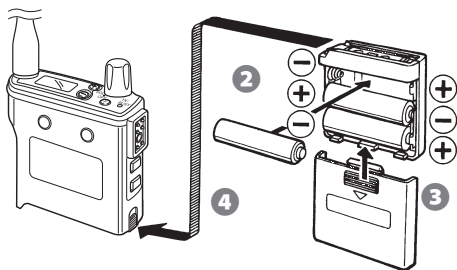


オプション(別売品)について

電池ケース(BT201JA)について

電池の入れかたと取り付けかた

- 1 電池ケースのフタを外す
- 2 単三形乾電池を電池ケースに入れる
 - プラスとマイナスを間違えないよう注意してください。
- 3 電池ケースのフタを閉める
- 4 トランシーバーのレールと電池ケースのミゾを合わせ、電池ケースを取り付ける



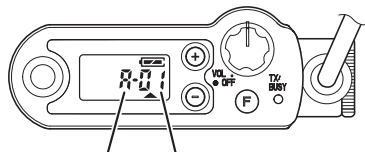
⚠ 注意

CBT201JA (電池ケース)の電池を交換するときは、3本とも新しい電池に交換してください。このとき、交換する電池は3本とも同じ種類にしてください。また電池を交換するときは、電池の極性に充分注意してください。

通話の種類について

チャンネル番号とコード番号

本機にはチャンネル番号とコード番号の設定があります。
通話したい相手とチャンネル番号とコード番号を合わせます。
工場出荷時にはチャンネル番号は自動「A」（空いているチャンネルを自動的に探す方式）、コード番号は「01」に設定されています。



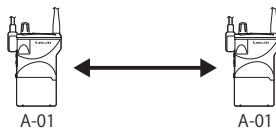
チャンネル番号 コード番号

アドバイス

- チャンネルは通常、「A」のままに変更する必要はありませんが、決まった固定チャンネルで使用することもできます。
- チャンネルを変更するには、[F] を 2 回押して、△マークが表示される状態にして、[+] / [-] で希望のチャンネルに変更します。

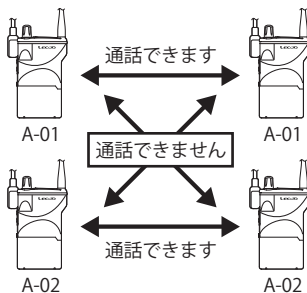
一組での使用

本機の使用が一組の場合は、チャンネル番号とコード番号は 2 台とも工場出荷状態のままの設定でお使いいただけます。



二組以上での使用

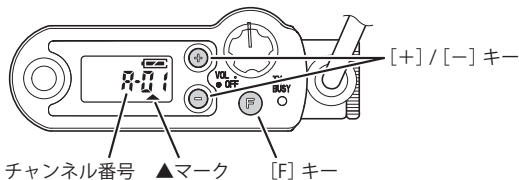
本機の使用が二組以上ある場合は、それぞれのコード番号を変えることで、同じコード番号同士のみ通話できるようになります。



■ 設定方法

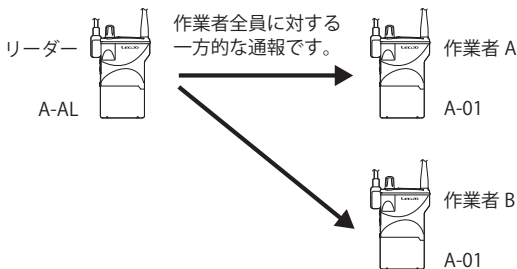
コード番号を変更するには、▲マークが表示されている状態で[+] / [-] でコード番号を変更します。

もし▲マークが表示されていない時は、[F] を何回か押して、▲マークが表示される状態にします。



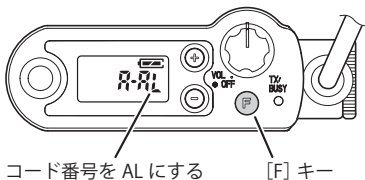
一斉呼出し(通報)

例えば、リーダーが複数の作業員に指示を出すような使い方の場合です。リーダーから作業員全員に対して通報することができます。



■ 設定方法

一斉呼出をするには、トランシーバーの [F] を何回か押してコード番号を「AL」の表示にして、[CALL] を押して呼び出します。

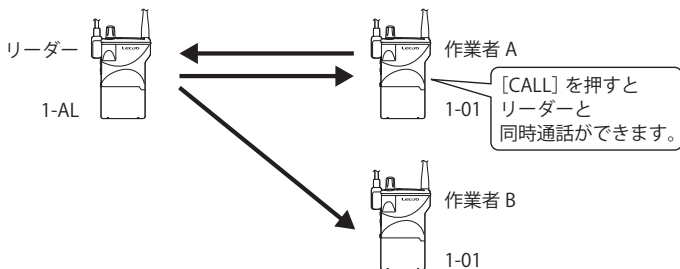


🔍 アドバイス

- この設定の場合、作業員はリーダーの音声を聞くだけで、リーダーに対して話しかけることはできません。(チャンネルが自動「A」になっているため)
- 作業員からも通話をしたい場合は、チャンネルを1～18の固定チャンネルに設定してください。作業員からも通話ができるようになります。次の「一斉呼出し(通話)」を参照。

一斉呼出し(通話)

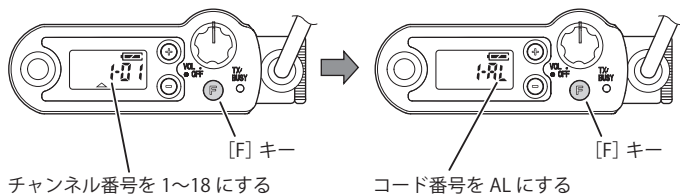
例えば、リーダーが全員に聞こえるように通報し、時には作業者からの返事を聞きたいというような使い方の場合です。固定チャンネル(1～18チャンネル)にして、一斉呼出しに設定すると、呼ばれた人は一斉呼出しをした人に対して返事(応答送信)ができるようになります。



■ 設定方法

固定チャンネル(1～18チャンネル)にするには、△マークが表示されている状態で[+] / [-] でチャンネル番号を変更します。(もし△マークが表示されていない時は、[F] を何回か押して、△マークが表示される状態にします。)全員を同じ固定チャンネルに設定します。

次に[F] を2回押してコード番号を「AL」の表示にして、[CALL] を押して呼び出します。

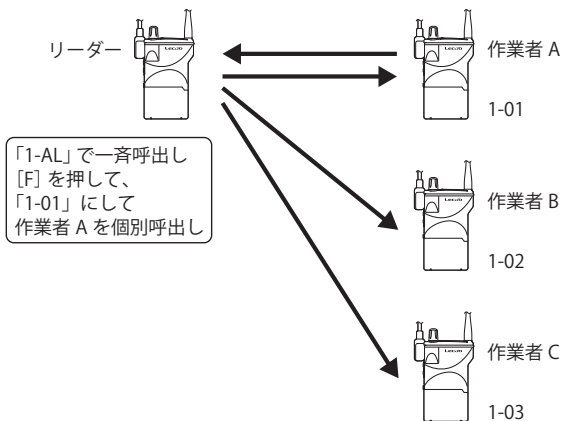


アドバイス

- リーダーと作業員 A が通話中は他の作業員 B は応答送信することはできません。
- 設定モードで「受信音声ループ設定」を ON にすると、リーダーと作業員 A の会話を他の作業員 B が聞くことが出来るようになります。
- 応答送信で通話に入った場合、作業員 A が [CALL] を押して終話すると、一旦終話したあと、リーダーのトランシーバーは再度、自動的に一斉呼出しするようになっています。
リーダーが [CALL] を押して終話した場合は、自動一斉呼出しの動作は行なわれません。

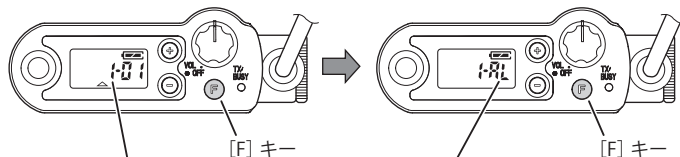
一斉呼出しと個別呼出し

例えば、リーダーが、ある時は全員に聞こえるように通報し、ある時は作業員 A とだけ通話をしたいというような使い方の場合です。作業員 A ～ C のコード番号を 01 ～ 03 というように別々に設定しておけば、リーダーは [F] で切り替えることにより「一斉呼出し(1-AL)」と「コード番号での呼出し(1-01)」を使い分けることができます。



■ 設定方法

チャンネルを1～18に変更するには、△マークが表示されている状態で[+] / [-]でチャンネル番号を変更します。全員を同じ固定チャンネルに設定します。コード番号を変更するには、▲マークが表示されている状態で[+] / [-]でコード番号を変更します。作業者A～Cは別々のコード場号に設定します。



チャンネル番号を1～18にする
コード番号を01～99に個別に設定する

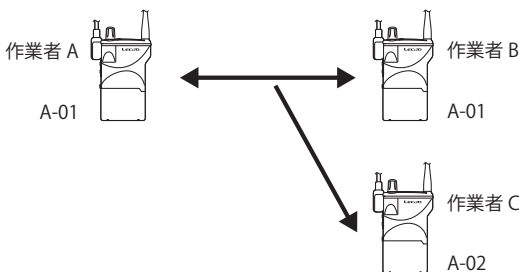
一斉呼び出しをする場合は
[F]を押してコード番号を
ALにする

他の人の会話を聞く

例えば、作業員 A と作業員 B の会話を作業員 C が聞きたいというような場合です。通常、チャンネル／コード番号の設定を作業員 A、B が A-01、作業員 C が A-02 に設定しておく、作業員 C は作業員 A と B の会話を聞くことはできません。

しかし、設定モードで「音声ループ設定」、「他者通話接続設定」を ON にすると、作業員 C のトランシーバーは自分のコード番号に関係なく、通話を聞く状態になります。これにより、作業員 A が作業員 B を呼び出した時、作業員 C が二人の通話を聞くことができるようになります。

設定方法については「設定モード」の「音声ループ設定」、「他者通話接続設定」の項目をご参照ください。

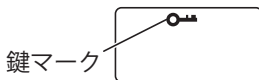


応用操作

キーロック機能

キーロックすると [+]/[-] 及び [F] による選択項目の変更ができなくなり、誤操作を防ぐことができます。キーロックをしても [CALL] は使用できます。

- ① トランシーバーのチャンネル、相手番号を合わせ、キーロックにしてもよい状態にする
- ② [F] を 2 秒以上押し続けて、鍵マークを表示させる



- ③ キーロックを解除するには、[F] を 5 秒以上押し続ける表示部から鍵マークも消えます。

バックライト機能




暗い場所で表示部を確認するときに、バックライトが点灯して表示部を確認することができます。

[+]/[-]、[F]、[MONI] のいずれかのキーを押した時、バックライトが点灯します。

点灯後、何も操作しなければ約 5 秒後に消灯します。

電池残量表示

表示部の右上部にある表示がリチウムイオン電池パック LB201JA の電池残量表示です。充電の目安としてご利用ください。

-  電池残量が半分以上ある場合
-  電池残量が半分以下ですが、まだ使える場合
-  電池残量がほとんど無く、充電を要する場合

電池セーブ機能

送信／受信が無く、無操作の場合は自動的に電源を ON/OFF させて電池の消耗を防ぎます。

報知音機能

本機は、キー操作や動作により、以下のような報知音をヘッドセットのイヤホンより出します。

音の種類	キー操作または動作
ピ	キー入力時
ブブ	キー入力無効時
ピポ	数字が初期数字(1や01等)に戻った時
プープー	他の人が使っているチャンネルで、[CALL] を押した時
ブ	相手を呼び出せなかった時
プルル、プルル	通話回線が継がるのを待っているとき
ルルル・・・	相手の人を呼び出しているとき
プブ	通話時間が残り10秒のとき
ピピピ	休止時間中に相手の人を呼び出した時

弱電界自動再接続機能

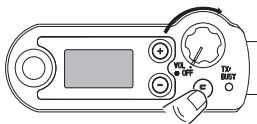
電波の到達範囲から外れて通話が終了してしまった場合、自動的に再接続を行います。この動作は1分間行われます。1分以上過ぎても再接続できなかった場合は、通話可能エリアに戻って [CALL] を押して再接続してください。

アドバイス

- この弱電界自動再接続機能によって接続が行われた場合、もともと送信出力が1mWに設定されていても、一時的に10mWで送信します。通話が完全に終了すると次の送信からは再び1mWで送信します。(10mWで送信している場合は、一回の通話時間は3分になります。)

設定モードについて

各種設定するには、トランシーバーを設定モード状態にします。設定モード状態にするには、[F] を押しながら電源を入れます。



設定内容は [F] を押すごとにメモリーに記憶され、設定項目が進みます。

1. 自局グループ設定
↓ [F] を押す
2. 秘話設定
↓ [F] を押す
3. バンド設定
↓ [F] を押す
4. 送信出力切替
↓ [F] を押す
5. 受信音声ループ設定
↓ [F] を押す
6. 他者通話接続設定
↓ [F] を押す
7. マイク感度設定
↓ [F] を押す
8. CALL キー設定
↓ [F] を押す
9. モニターキー設定
↓ [F] を押す
1. 自局グループ設定に戻る

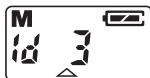
設定終了後、電源を OFF にして再度電源 ON にすると、設定した内容で動作します。

1 自局グループ設定 (工場出荷状態はグループ番号設定なし)

- コード番号以外にトランシーバーに対してグループ番号(1～9)を設定する事ができます。
グループ番号を設定すると、同じグループ番号のトランシーバー同士しか接続しません。
一斉呼出し、他社通話接続についてもグループ番号が一致していないと接続しません。
- [+]/[-] で自分のグループ番号を入力します。



△が点滅



グループ番号 3 の時

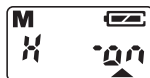
グループ番号は - (グループ番号設定なし)、1～9

2 秘話設定 (工場出荷状態は秘話 OFF)

- [+]/[-] で秘話機能を ON/OFF します。
- 秘話機能を ON にすると音声加工され、通常の受信機で聞き取りづらくなります。



秘話 OFF



秘話 ON

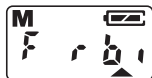
- 秘話設定は呼び出す側だけ秘話設定を ON にすれば、呼び出された側のトランシーバーも自動的に秘話設定が ON になり、秘話状態で通話できます。
- 呼び出す側が誰になるかわからないような場合は、すべてのトランシーバーの秘話設定を ON に設定してください。
- 他の機種でも秘話機能のあるものには通話を聞かれることがありますので、高度な機密を必要とする通話での使用はお避けください。

3 バンド設定 (工場出荷状態は 18 チャンネル仕様)

- 18 チャンネル仕様 (10mW/1mW) (01 ~ 18 チャンネル) / 9 チャンネル仕様 (10mW 固定) (1 ~ 9 チャンネル) を切り替えます。
- 2 つのバンドを混在して使用することはできません。
- [+] / [-] でバンドを切り替えます。

● 18 チャンネル仕様

01 ~ 18 チャンネル、及び A (自動チャンネル設定)
送信出力 10mW と 1mW の切り替えができます。
10mW では一回の通話時間は 3 分です。
1mW では通話時間の制限はありません。



● 9 チャンネル仕様

1 ~ 9 チャンネル (自動チャンネル設定はできません)
送信出力は 10mW のみです。
一回の通話時間は 3 分間です



4 送信出力切替 (工場出荷状態は 1mW)

- [+] / [-] で送信出力を 10mW、1mW に切り替えます。
- 前項のバンド設定が 9 チャンネル仕様の時はこの項目はスキップされます。

● 10mW 設定時

送信時間制限	3 分 (3 分経つと 3 秒程度通話が途切れ、自動的に再接続します)
使用可能チャンネル	01 ~ 18、1 ~ 9 チャンネル



● 1mW 時設定時

送信時間制限	なし
使用可能チャンネル	01 ~ 18 チャンネル



※ 10mW 設定時、送信時間が 3 分になると、3 秒程度通話は途切れますが、そのまま自動的に再接続します。また、通話が途切れる 10 秒前にヘッドセットのイヤホンから「ププ」という警告音が出ます。

- バンド設定を 9 チャンネル仕様に設定すると 10mW のみになります。

5 受信音声ループ設定(工場出荷状態は OFF) (詳細は P.18 を参照)

通話している二人の会話を、別の P2010 で聞くことができます。

- [+] / [-] を押して、受信音声ループの ON/OFF を切り替えます。



受信音声ループ OFF



受信音声ループ ON

※受信音声ループを ON にした場合、次項の他者通話接続設定は自動的に ON になります。

6 他者通話接続設定(工場出荷状態は OFF) (詳細は P.18 を参照)

- モニター接続設定を ON にすると他の二人が通話している内容をモニターキーを押さなくても聞けるようになります。

- グループ番号が異なる P2010 の通話は聞こえません。

※受信音声ループ設定を ON に設定すると、他者通話接続も自動的に ON に設定されます。しかし、自分の通話を他の人に聞こえるようにして、他の人同士の会話を聞く必要がない時は、他者通話接続設定を OFF にします。

- [+] / [-] を押して、モニター接続設定の ON/OFF を切り替えます。



他者通話接続設定 OFF



他者通話接続設定 ON

7 マイク感度設定(工場出荷状態は 2)

- 周囲の状況や声の大きさにより、マイクの感度を変更することができます。小さな声で通話するときは、マイク感度を高くしてください。大きな声で通話するときは、マイク感度を低くしてください。

- [+] / [-] を押して、マイクの感度を設定します。



マイク感度低い



マイク感度標準



マイク感度高い

8 CALL キー設定(工場出荷状態は OFF)

CALL キーの使い方の設定です。

- この設定を ON にした時、[CALL] は通話開始の為のスイッチではなく、マイクミュートの ON/OFF 動作のためのスイッチとなります。
[MONI] で回線を接続した後は、[CALL] を押しながら話をするようにします。
周囲騒音がうるさくて、必要なときだけ音声を送りたいときなどに使います。
- この設定が ON のとき、通話開始/終話は [MONI] を押して行います。
- [+] / [-] で ON/OFF を設定します。



CALL キー設定 OFF



CALL キー設定 ON

9 モニターキー設定(工場出荷状態は OFF)

- この設定を ON にすると、[MONI] を押したとき、受信状態がそのままスピーカーから出力されます。
受信している電波が無いときは、「ザー」という音が聞こえます。
- [+] / [-] で ON/OFF を設定します。



モニターキー設定 OFF



モニターキー設定 ON

その他

オプション

CG201JA	急速充電器
LB201JA	リチウムイオン電池パック(1200mAh)
HP201JA	ヘッドセット
SK201JA	ヘッドセットスピーカー
MP202JA	タイピンマイク(ノイズキャンセルタイプ)
BT201JA	電池ケース(単3形乾電池3本用)
LC201JA	キャリングケース

仕様

一般仕様

チャンネル数	28 チャンネル(制御チャンネル含む)
使用周波数	400MHz 帯
電波形式	F3E、F2D (制御チャンネルは F2D のみ)
通信方式	複信方式
電源電圧	DC3.7V
発振方式	水晶発振により制御する周波数シンセサイザー方式
アンテナ	ホイップアンテナ
周波数切替方式	手動切替 / 自動切替
使用温度範囲	-10°C ~ +50°C
寸法	幅 58mm 高さ 106.5mm 奥行き 22mm (LB201JA 装着時、突起物含まず)
質量	約 170g (LB201JA 装着時)

送信仕様

送信出力	10mW 以下(10mW 設定時) 1mW 以下(1mW 設定時)
周波数の偏差	± 4.0ppm
隣接チャンネル漏洩電力	40dB 以上
占有周波数帯幅	8.5kHz 以内
スプリアス発射の強度	2.5 μ W 以下
最大周波数偏移	± 2.5kHz 以下
変調方式	可変容量ダイオードによる直接周波数変調
通話時間設定タイマー	3 分(10mW 設定時) 無制限(1mW 設定時)

受信仕様

受信方式.....ダブルスーパーヘテロダイン方式
中間周波数.....23.05MHz (1st IF)
450kHz (2nd IF)
受信感度.....-5dBu 以下 (12dB SINAD)
スケルチ感度.....-3dBu 以下
低周波出力.....8mW 以上 (8 Ω 負荷)
副次的に発する電波等の限度.....4nW 以下

電池の使用可能時間の目安



バッテリー種類/送信出力	10mW	1mW
リチウムイオン電池パック LB201JA (付属)	約 20 時間	約 8 時間
単 3 形マンガン電池	約 9 時間	約 5 時間
単 3 形アルカリ電池	約 28 時間	約 15 時間

条件

10mW 設定時： 通話時間 3 分 待ち受け時間 12 分
1 mW 設定時： 連続通話時間

故障かな?と思ったら

本機が正常に作動しない場合には、まず以下の内容をご確認ください。

症 状	確 認	処 置
電源が入りません。	付属のリチウムイオン電池パックは充電されていますか？	お買い上げ時、付属のリチウムイオン電池パックは充電されていません。充電器で充電してください。 また、長期間で使用にならなかったときも充電してからお使いください
音声が出ません。	TX/BUSY ランプは赤色に点灯していますか？	TX/BUSY ランプが赤色に点灯していない場合、相手とチャンネルまたはコード番号が違っている可能性があります。チャンネルまたはコード番号を合わせてください。
	ヘッドセットは正しく接続されていますか？	このトランシーバーには内蔵スピーカーはありません。音はヘッドセットから出ます。ヘッドセットを正しく接続してください。
チャンネルが変わりません。	 が表示されていませんか。	 が表示されている場合、キーロックされています。[F]を5秒以上押してキーロックを解除してください。
送信できません。	信号を受信していることを示す TX/BUSY ランプは緑色に点灯していますか？	他の人が同じチャンネルを使用中です。TX/BUSY ランプの緑色が消えるのを待ってから送信してください。

トランシーバーをオールリセットする

「故障かな?と思ったら」をお試しいただいても問題が解決できない場合はトランシーバーをオールリセットしてみてください。

アドバイス

- トランシーバーをオールリセットする前に、設定した内容をメモしておくことをお勧めします。リセットをおこなうとトランシーバーの設定はお買い上げ時に戻ります。

① [CALL] + [MONI] + [F] を押しながら電源を入れる

- 電源が入り表示部に **81.5** が表示され、その後通常の表示に戻ります。

アドバイス

- [CALL] + [MONI] + [F] を押しながら電源を入れると、トランシーバーはオールリセットされ、各設定が工場出荷状態になります。
- トランシーバーをオールリセットしても問題が解決されない場合は、販売店あるいは CSR カスタマーサポートへお問い合わせください。

保証・アフターサービス(よくお読みください)

【保証書(別添)】

この製品には、保証書を(別途)添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

【保証期間】

保証期間は、お買い上げ日より**1年間**です。

【保証用性能部品の最低保有期限】

CSRはこの本製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年保有しています。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

【修理に関する相談窓口】

修理に関するご相談ならびに不明な点はお買い上げの販売店またはCSRカスタマーサポートへお問い合わせください。

CSR カスタマーサポート



0120-973-698

e-mail : lecuo_support@kcsr.co.jp

ご相談受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日祝日を除く)

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」(29 ページ)を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店または CSR カスタマーサポートへお問い合わせください。

お願い

- 修理に出された場合、設定されたデータが消去される場合がありますので、別途お客様ご自身でお控えくださいますようお願い致します。また、本機の故障、誤動作、不具合などによって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、CSR は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

【保証期間中は】

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または CSR カスタマーサポートが修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

【保証期間が過ぎているときは】

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。修理をご依頼のときは、製品名、製造番号、お買い上げ日、故障の状況(できるだけ具体的に)、ご住所、お名前、電話番号をお知らせください。

【修理料金の仕組み】(有料修理の場合は次の料金が必要です)

技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理及び付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、測定器など設備費、一般管理費などが含まれます。

部品代：修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

送料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

株式会社CSR

〒 252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野 5 丁目 33 番 4 号

当社の最新情報をインターネット上で確認してください。

<http://www.kcsr.co.jp/>

CSR カスタマーサポート



0120-973-698

e-mail : lecuo_support@kcsr.co.jp

ご相談受付時間

9:00 ~ 17:00

(土日祝日を除く)

お問い合わせは、販売店あるいは CSR カスタマーサポートで承っております。

Printed in Japan 2014/12

00M01BC851112